



積極的に健診を

— 前立腺がん —

指導：千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学 教授

市川 智彦

企画：
日本医師会

No. 358

前立腺がんとは

前立腺は男性にしかない生殖器官の一部ですが、年をとるにつれて肥大することが多く、前立腺肥大症、前立腺がんは60歳以上で罹患率・死亡率ともに増えています。

前立腺がんの原因は不明ですが、脂肪の多い食事が増えてきたことなどの影響が指摘されています。また、家族内にかかった方がいる場合、遺伝的にかかりやすい傾向にあります。

症状を自覚してからでは遅い

良性腫瘍である前立腺肥大症から前立腺がんに進むことはありません。しかし、前立腺肥大症と前立腺がんが併発したり、前立腺肥大症の薬物療法を長期間続けているうちに前立腺がんが見つかることもあります。

前立腺がんは早期では症状がほとんどなく、尿が出にくい、血尿が出るなどの症状が現れるころには、かなり進行してしまっていることが多くみられます。

PSA検査を受けましょう

前立腺がんは、比較的進行がゆっくりしているため、高齢で早期がんが見つかったときは、手術はせずに経過を見守ることもしばしばです。

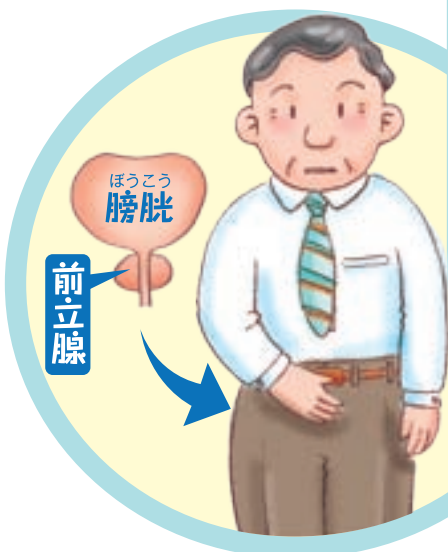
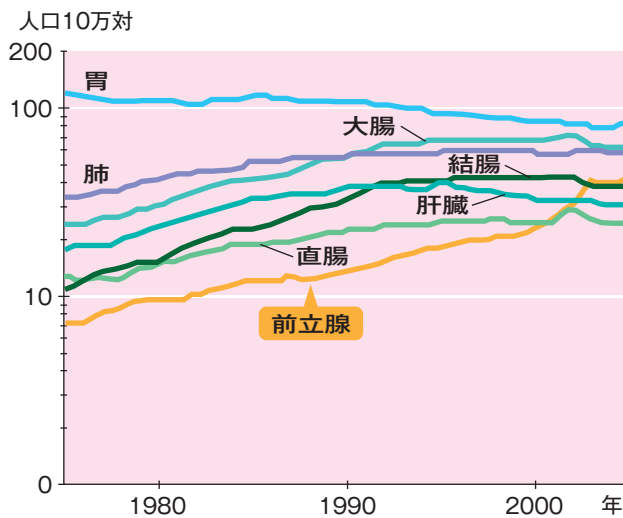
早期発見が
大切です。

ただ、進行してしまうと骨に転移しやすくなり、がん性疼痛に苦しむことも多くなります。早期であれば有効な治療法がありますから、なによりも早期発見が大切です。

診断に有用なPSA検査は、血液検査で簡単に測定できます。働き盛りの年代こそ早期がんを見つけるチャンス。50歳を過ぎたら、ぜひPSA検査を定期的に受けてください。



部位別がん年齢調整罹患率の推移 (主要部位・対数) [男1975年~2005年]



血液検査で測定できるPSA値